



「第2回 予防・健康づくり領域の 社会実装に向けたシンポジウム」

令和5年3月1日(水) 13:00~16:45

大手町サンケイプラザ 4階ホール 東京都千代田区大手町1-7-2

参加費無料・事前予約制

下記より参加登録をお願いいたします
※応募締切:2023年2月26日(日)

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/AMED/2023/>



公式HP 予防・健康づくりの
ヘルスケアにおける
社会実装推進プロジェクト



<https://healthcare-service.amed.go.jp/>

プログラム・登壇者(敬称略)

下記内容は予告なく変更する場合がございます。
予めご了承ください。

開会挨拶 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長 三島 良直

基調講演 日本医学会連合 会長 門田 守人

セッション1

予防・健康づくりにおけるヘルスケアサービスの未来 ～心の健康領域におけるデジタルサービスを事例として～

モデレーター 北里大学医学部 公衆衛生学 教授 堤 明純
話題提供 マッキンゼー・アンド・カンパニー・ジャパン 酒井 由紀子
パネリスト 産業医科大学 産業生態科学研究所 教授 榎原 毅
広島大学大学院 医系科学研究科 教授 岡本 泰昌
大阪大学大学院 人間科学研究科 助教 村中 誠司
積水化学工業株式会社 人事部 厚生・健康支援グループ 健康推進室長 荒木 郁乃
株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント 代表取締役社長 鳥越 慎二

セッション2

予防・健康づくり領域のヘルスケアサービスの社会実装に向けて ～アカデミア、事業者、利用者等、ステークホルダー間での共創～

基調講演 ヘルスケア社会実装基盤整備事業について
京都大学大学院 医学研究科 教授 中山 健夫

講演1 デジタル技術を活用した生涯にわたる血圧管理に関する指針の研究開発課題紹介
福岡大学医学部 衛生・公衆衛生学 教授 有馬 久富

講演2 生活習慣病予防のための行動変容継続を実現するための指標に関する研究課題紹介
大阪大学大学院 医学系研究科 特任准教授 野口 緑

講演3 事業者の立場からの指針への期待・・・(調整中)

講演4 利用者の立場からの指針への期待・・・(調整中)

指定発言 診療ガイドラインの普及実績から見た、指針等の普及戦略(仮題)
日本医療機能評価機構 執行理事 福岡 敏雄

総合討議 テーマ:ヘルスケア社会実装基盤整備事業の研究成果の社会への早期還元に向けて

モデレーター: 国立国際医療研究センター 国際医療協力局
グローバルヘルス政策研究センター センター長 磯 博康
京都大学大学院 医学研究科 教授 中山 健夫

ネットワーキング

ヘルスケアサービスに関わる皆様の関係構築の場を設定いたします。
ヘルスケアサービスに関わる事業者、アカデミア、自治体等の皆様のご来訪をお待ちしています。

■お問い合わせ 第2回予防・健康づくりシンポジウム事務局
TEL:03-5577-3076(平日10:00~18:00) FAX:03-5577-3043
E-mail:jimukyoku@cpfine.biz

主催 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

後援 経済産業省、厚生労働省、読売新聞社(予定)